

教育分野 政策 3 「歴史文化遺産の保存・継承と活用」

目指す姿

姫路城をはじめとした文化財や、地域に伝わる伝統行事など、多彩な歴史文化遺産が未来に継承されている。

【現状と課題】

- 各地の文化財によるストーリーが日本遺産に認定され、地域振興や観光振興に寄与するなど、歴史文化遺産の活用に対する期待が大きくなる一方で、その価値を損なうことなく保存・継承することとの両立が課題となっています。
- 国や地方自治体は文化財保護顕彰の制度を整えていますが、文化財の専門職員の減少や、歴史文化遺産を保存・継承する担い手の不足、文化財の修理を行う技術者の後継者問題などにより、歴史文化遺産の散逸、毀損、滅失が懸念されています。
- 自然災害や火災などで歴史文化遺産が被害を受ける事例が全国で発生しており、文化財に関する防災・防犯対策が求められています。
- 全国の地方自治体が郷土の歴史編さんや古文書などの史資料の整理に取り組み、歴史的文書の継承と活用が図られる中、その歴史的文書を適切に保存・継承するための保管場所の確保や文書管理の専門家の育成が求められています。

※関連データ：日本遺産認定数（全国）

	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	計
認定数	18件	19件	17件	13件	16件	83件

（資料）日本遺産の概要（文化庁）

【目指す姿を実現するための方向性】

人 地 域	ア 文化を継承する担い手の確保・育成
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 石積み、漆喰塗りなど姫路城等の文化財建造物の保存修理に必要な技術や、鷹匠、伝統工芸など地域に伝わる文化を消滅させることなく後世に引き継ぐための担い手の育成に努めます。 ○ 歴史文化遺産や歴史的文書の保存・継承を確実に進めるよう、専門人材の確保・育成を進めます。
活 力	イ 歴史文化遺産を学ぶ場の充実
	<p>歴史文化遺産の認知度を高め愛着を持ってもらえるよう、歴史文化遺産の新たな魅力の創出や公開が困難な文化財の見学に ICT を活用するほか、歴史文化遺産の価値を伝え保存・継承の意義を啓発する施設の展示・学習機能の充実・整備や史実に基づき真実性を保持した復元的整備に取り組みます。</p>
土 台	ウ 歴史文化遺産を守り伝える体制の充実
	<p>歴史文化遺産が次世代に継承され、地域の魅力ある資源として活用されるよう、文化財の調査・保存修理や防災・防犯対策を進めるとともに、地域に伝わる無形民俗文化財や史跡などを保存・活用する活動を支援し、歴史文化遺産を守り伝える体制の充実を図ります。</p>

市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 郷土の歴史や文化に関心を持ちましょう。 ➢ 文化財の価値を理解するとともに、適切な管理に努めましょう。
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 歴史的建造物や町並みの保存活動などを行いましょう。 ➢ 地域の文化財を活用し、地域の魅力向上に取り組みましょう。
企業・団体	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 管理・所有している文化財の保存・活用に取り組みましょう。 ➢ 市民や行政が行う歴史文化遺産の保存・活用に参画・協働しましょう。